

『庄内っこ日和』

令和2年11月24日
庄内こどもの杜幼稚園 教頭 岩崎巧

はじめに…

保護者の皆様いつも当幼稚園のもりのこっこにご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。
この『庄内っこ日和』は、昨年度から掲示用として始めた、当幼稚園の園外保育での子ども達や先生の様子を、当学園の理念や方針と重ね合わせながら皆様にお伝えする"ドキュメンテーション"です。
晴れたよい天気という意味もある日和という言葉は、庄内っこの未来を明るく照らしています。
このお便りを通して、日々子ども達や先生の様子や当幼稚園の考えを少しでも知って頂けるきっかけとなれば幸いです。

今回は、年長組もりのこっこ晩秋の様子を配信したいと思います。今回は4名のお母さんに保育ボランティアで参加して頂きました。ご協力ありがとうございました。

今回のもりのこっこのねらい: ・他児と協力しながら大根抜きを楽しむ ・大根を様々な調理で味わう

当幼稚園の「もりの子っこ」とは、「鎮守の杜(もり)の子ども(つまり当学園の子ども)」が、「森の子ども」になるという意味です。

能勢にある野外センターや、能勢の田畑や川自然豊かな公園には、庄内にはない決して人工的に作り出す事の出来ない自然が溢れています。

そこで子どもは、平常保育時以上に五感をフル活用しながら、四季ごとに活動する経験を作ります。それが、情操豊かな人間になる大事な活動であると思っております。

(庄内の保育の根っこp37参照)

庄内の保育の根っこ



イチョウ切りとイチョウの木

自分達で収穫した大根をイチョウ切りで調理した後、散歩をしてイチョウの木を見に行きました。

道中担任や、お母さん先生が「カシャカシャ葉っぱが音するね」や「赤い葉っぱがあるね」など声かけていました。大人の声かけ次第で子どもの感じ方や見方が変わっていく姿がありました。



もりのこっこ年長 (晩秋)

能勢の畑で大根掘り

大根掘り体験

能勢で、しっかりと育った大根をお母さんや友達と協力して収穫した子ども達。

「一緒に持って行こう」や、「次こっちから抜こう」などお互いに、声を掛け合って主体的に大根抜きを楽しんでいました。



収穫前に大根の抜き方を聞きました。



ゆっくり行ってな

農家の中川さん

大根美味しくいただきます。



切る時は真剣

自分達で収穫した大根は、自分達で調理しました。水洗いし、包丁でイチョウ切りをして、そのまま食べたり、昼食の味噌汁に入れて、美味しく頂きました。
収穫直後の野菜を、自分達で調理し、新鮮な素材の味を味わえるのはもりのこっこならではの!



「おかわりある？」